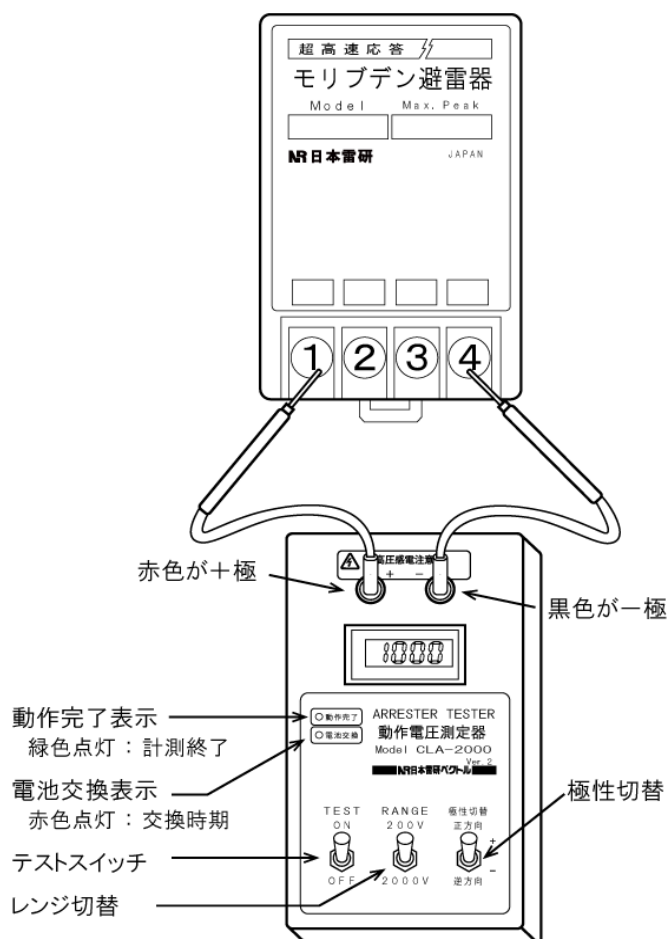


●端子配列と結線図



チェッカーの動作について

チェッカーCLA-2000のは1mA以下の電流制限付きです。

1mAを超えた時点で、数値をホールドして素子への電圧印加を停止します。

TESTスイッチをOFFにするまで表示します。

●点検前のご注意

- ① 安全のため配線を外しておこなってください。
- ② 感電にご注意ください。
TESTスイッチをONにしているとき、出力の電極を素手で触れないでください。
- ③ メーターのサンプリング周期により読み取り誤差があります。
2～3回程度おこなってください。

●点検後・・・新品交換待ちになった場合

- ① 劣化と判断した場合であっても電源・信号に支障がなければ、新品交換まで付け戻してください。
交換までの雷サージ対策となります。

●素子の良否判定

- ① 測定する素子の動作電圧に合わせてRENJE(レンジ)を切り替えてください。
- ② 極性切替スイッチは通常正方向を定位置にしてください。(極性切替時使用します)
- ③ チェッカーCLA-2000のテストピン(またはクリップ)を下表端子番号に合わせて接続してください。
- ④ TESTスイッチをONに投入してください。
- ⑤ 指示値が下表の範囲内は正常、範囲外は劣化(不良)と判定します。

<信号伝送路用避雷器>

各素子	測定端子間	端子番号 +極／-極	印加電圧 (レンジ)	確認内容 下記の範囲であること	故障モード (通常)
M1	L1/E	1-4	2000V	DC1000-1500V	SHORT
M2	L2/E	2-4	2000V	DC1000-1500V	SHORT
ZD	L1/L2	1-2 ※	200V	DC90 - 110V	SHORT

※ 極性切替スイッチで逆方向の確認もおこなってください。